

平成27年度 国立山口徳地青少年自然の家 教育事業

# 「野外教育プログラムデザイン研修会」

平成28年2月8日(月) ~ 2月10日(水)



講師 西村仁志(にしむらひとし)  
広島修道大学人間環境学部教授。  
博士(ソーシャル・イノベーション)  
1993年「環境共有カラーズ」を開業し、環境学習・市民参加のまちづくりのコーディネーター、コンサルティングや研修会、イベント等の企画運営などを行ってきた。  
2012年より現職。

【ねらい】 主に野外教育に関心のある方を対象に、事業を企画するための手立てや手法を学ぶとともに、研修後の事業運営に生かせるよう参加者相互のネットワークをつくる。

【参加者】 男性10名 女性5名 計15名

【プログラムの内容】

2月8日(月) 10:30~21:00

演習「学びの場づくり」 講義「プログラムデザインの意義」 演習「施設周辺の踏査」

2月9日(火) 9:00~21:00

演習「プログラムをデザインする」「プレゼンテーションとフィードバック」  
「プログラムの練り直し」

2月10日(水) 9:00~11:30

演習「最終プログラムのプレゼン」 講義・演習「参加者全員によるふりかえり」  
「講師講評」

1日目(2/8)



2日目(2/9)



3日目(2/10)

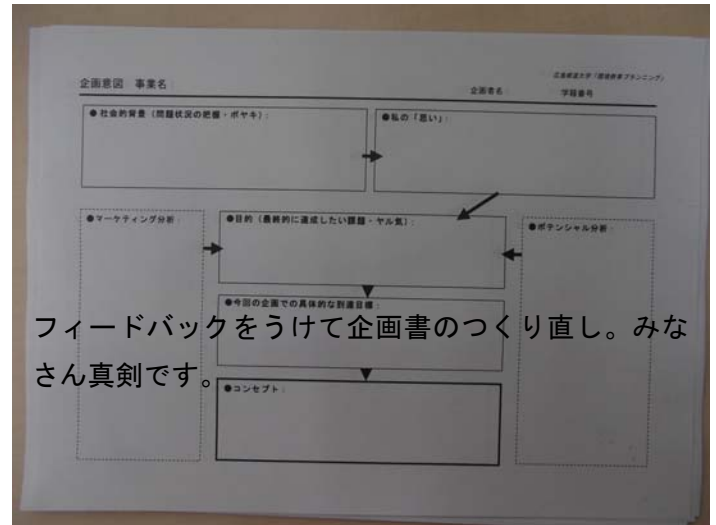


参加の動機などを披露しあい、安心して学べる場をつくれます。

企画書づくりの意義と手法のレクチャー



自分がしたい事業の企画をデザインしています。



フィードバックをうけて企画書の作り直し。みなさん真剣です。



考えていることを相談し合ってヒントを得ます。

企画書をプレゼンし、全員からフィードバック(感想や意見)をもらいます。



休憩も大事で一す

【参加者の声】

- 企画を順序立ててしっかりと組み立てる経験ができた。
- 職場に戻って今回の学びを職員と共有し、職場全体の取り組みとして生かしたい。

【成果】

- 「ねらい」としていた事業企画の手法・手立てを学ぶこと、ネットワークをつくることが達成できた。

【課題】

- 参加者がこの研修会をどのように生かしたか、をそれぞれの事業内容や成果をとおして検証し、フォローアップすること。

【今後の展望】

- 参加対象を「野外教育」に限らず「体験活動」に広げ、教職員や社会教育関係者など、より多くの方にプログラムデザインの楽しさとネットワークの拡張を図りたい。

